



2019年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月14日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第1四半期の連結業績(2018年7月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	1,409	10.6	△33	—	△31	—	△27	—
2018年6月期第1四半期	1,274	△7.6	△31	—	△28	—	△32	—

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 △27百万円(—%) 2018年6月期第1四半期 △32百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	△6.80	—
2018年6月期第1四半期	△7.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	2,316	533	23.0
2018年6月期	2,282	590	25.9

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 533百万円 2018年6月期 590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	7.11	7.11
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	0.00	—	8.30	8.30

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,110	8.7	179	7.0	167	0.5	112	46.3	27.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期1Q	5,076,000株	2018年6月期	5,076,000株
2019年6月期1Q	1,026,552株	2018年6月期	1,026,552株
2019年6月期1Q	4,049,448株	2018年6月期1Q	4,049,448株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年7月1日から2018年9月30日まで)におけるわが国の経済は、政府による経済政策を背景に、企業収益や雇用環境に改善がみられる等、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の経済政策や近隣諸国における地政学的なリスクの高まり等の不安定な要素が目立っており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、コア事業(生花祭壇事業)での売上拡大、生花卸売事業における物流のサービス強化と高度化、管理部門の体制強化、周辺事業の水平展開等を重点目標とした、2期目となる中期経営計画に基づき、各施策を実行してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、ブライダル装花事業においては前年同期比でやや減少したものの、生花卸売事業をはじめ各事業において比較的堅調に推移したことから、1,409,639千円(前年同期比10.6%増)、営業損失は、生花祭壇事業において原価率がやや上昇したこと及び新規拠点開設等によるコスト増加の影響もあり、33,664千円(前年同期は31,150千円の損失)、経常損失は31,715千円(前年同期は28,241千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は27,534千円(前年同期は32,194千円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、801,434千円(前年同期比3.0%増)と、第1四半期連結累計期間としては2期連続で過去最高となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2018年7月から2018年8月までの売上高、取扱件数ともに増加傾向で推移しており、この数年の傾向につきましても、大都市圏を中心として葬儀単価は低下しつつも件数が増加し、売上は拡大している状況です。

このように葬儀業全体では市場は引き続き拡大傾向にあり、その中でも上述のとおり特に大都市圏において「家族葬」や「密葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いておりましたが、今後は地方都市におきましてもこの傾向が徐々に顕在化してくるものと考えられ、その兆候は見えはじめております。

このような状況の中で、当事業では、強みである機動力や顧客ニーズへの対応力を活かすべく、関東・四国・九州エリアへ新たに拠点を展開する等、積極的に各施策を実行し、一定の効果が顕在化した労務比率の改善に続き、仕入原価の更なるスリム化等にも取り組んでまいりました。一方で、当期間につきましては、国内における天候不良の影響による仕入原価の高騰並びに、上述の新規拠点開設に伴うコスト増加の影響もあり、営業利益は98,664千円(前年同期比17.5%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、同社への会社分割・事業承継以来、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりましたが、前期後半より奏功の兆しが見えはじめ、当期において顕在化いたしました。

この結果、売上高は442,248千円(前年同期比28.8%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2018年9月)によると、2018年7月から2018年9月までの切花累計の取扱金額は16,127百万円(前年同期比6.1%増)、数量では234百万本(前年同期比4.8%減)と金額ベースでは増加、数量ベースでは減少いたしました。

このような状況の中で、当事業では前期に引き続き、従来の生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みにも注力しており、その結果営業利益は9,773千円(前年同期は990千円の損失)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、71,790千円(前年同期比1.7%減)となりました。少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、未だ大きな市場規模が保持されております。このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける新規顧客獲得と商圏拡大、リテール部門での更なる売上増、及び販管費の圧縮・効率化策を実施しており、一部にその効果は出

はじめたものの当期間中での顕在化には至らず、営業損失は5,721千円(前年同期は11,643千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、各事業ともに総じて堅調に推移したため、売上高は94,166千円(前年同期比17.6%増)となりました。一方で利益面におきましても回復基調で推移はしたものの、大幅な改善までには至らず、営業損失は22,756千円(前年同期は27,759千円の損失)となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の売買や賃貸等の仲介及び管理を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ34,609千円増加し、2,316,904千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ90,939千円増加し、1,783,161千円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ56,330千円減少し、533,743千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の連結業績予想につきましては、2018年8月14日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	772,659	817,698
売掛金	559,125	536,432
商品	19,331	25,802
仕掛品	2,518	4,403
原材料及び貯蔵品	29,921	33,674
その他	67,758	38,489
貸倒引当金	△12,338	△8,537
流動資産合計	1,438,976	1,447,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	485,735	494,490
減価償却累計額	△231,820	△236,122
建物及び構築物(純額)	253,914	258,368
車両運搬具	30,548	34,961
減価償却累計額	△20,034	△20,614
車両運搬具(純額)	10,513	14,346
工具、器具及び備品	163,216	169,316
減価償却累計額	△147,209	△147,941
工具、器具及び備品(純額)	16,007	21,374
土地	217,004	217,004
建設仮勘定	7,521	2,900
その他	11,065	11,090
減価償却累計額	△5,373	△5,579
その他(純額)	5,691	5,510
有形固定資産合計	510,653	519,505
無形固定資産		
のれん	10,626	7,969
その他	50,504	44,821
無形固定資産合計	61,131	52,790
投資その他の資産		
差入保証金	62,239	64,672
繰延税金資産	21,396	28,333
保険積立金	148,972	166,431
破産更生債権等	144,187	144,037
その他	37,560	35,257
貸倒引当金	△142,821	△142,087
投資その他の資産合計	271,534	296,644
固定資産合計	843,319	868,940
資産合計	2,282,295	2,316,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,065	226,029
短期借入金	100,000	270,000
1年内返済予定の長期借入金	331,955	322,462
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	98,630	66,741
未払法人税等	27,211	5,677
賞与引当金	8,197	28,046
その他	233,160	210,682
流動負債合計	965,320	1,136,740
固定負債		
社債	28,700	25,150
長期借入金	595,214	515,532
リース債務	38,492	38,468
退職給付に係る負債	52,623	54,576
その他	11,869	12,693
固定負債合計	726,900	646,420
負債合計	1,692,221	1,783,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	463,398	407,071
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	590,060	533,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	9
その他の包括利益累計額合計	13	9
純資産合計	590,073	533,743
負債純資産合計	2,282,295	2,316,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
売上高	1,274,365	1,409,639
売上原価	1,056,839	1,195,329
売上総利益	217,527	214,310
販売費及び一般管理費	248,676	247,974
営業損失(△)	△31,150	△33,664
営業外収益		
受取利息及び配当金	71	72
受取賃貸料	919	660
保険返戻金	4,931	1,700
為替差益	2,041	-
その他	6,297	3,353
営業外収益合計	14,261	5,787
営業外費用		
支払利息	4,149	2,893
為替差損	-	802
その他	7,202	141
営業外費用合計	11,352	3,837
経常損失(△)	△28,241	△31,715
特別利益		
新株予約権戻入益	5,274	-
特別利益合計	5,274	-
特別損失		
固定資産除売却損	1,600	-
リース解約損	2,850	-
特別損失合計	4,450	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,417	△31,715
法人税、住民税及び事業税	7,236	3,343
法人税等調整額	△2,459	△7,524
法人税等合計	4,777	△4,180
四半期純損失(△)	△32,194	△27,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,194	△27,534

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△32,194	△27,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△4
その他の包括利益合計	14	△4
四半期包括利益	△32,180	△27,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,180	△27,538
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

1. 配当金支払額

無配のため、該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年9月27日 定時株主総会	普通株式	28,791	7.11	2018年6月30日	2018年9月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結
会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	777,805	343,497	72,996	1,194,298	80,066	—	1,274,365
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,281	195,747	467	197,496	1,356	△198,852	—
計	779,086	539,244	73,463	1,391,794	81,422	△198,852	1,274,365
セグメント利益又は損 失(△)	119,644	△990	△11,643	107,010	△27,759	△110,401	△31,150

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業並びに就労継続支援事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△110,401千円には、セグメント間取引消去13,071千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,473千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	801,434	442,248	71,790	1,315,472	94,166	—	1,409,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,038	203,672	571	205,282	1,833	△207,115	—
計	802,472	645,920	72,361	1,520,754	95,999	△207,115	1,409,639
セグメント利益又は損 失(△)	98,664	9,773	△5,721	102,715	△22,756	△113,624	△33,664

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業並びに就労継続支援事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△113,624千円には、セグメント間取引消去10,025千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △123,649千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。